# 中部ろうさい病院

Chubu Rosai Hospital

地域医療支援病院
愛知県がん診療拠点病院
愛知県災害拠点病院
臨床研修指定病院
日本医療機能評価機構認定病院
卒後臨床研修評価機構認定病院

**中部ろうさい病院は、チーム医療で患者さん一人ひとりを大切に**
**「納得」と「安心」の治療を提供し、「未来」をめざします。**

第23回名古屋市都市景観賞
［まちなみ部門］受賞

## 予防医療にも重点を置いて

健康への関心を高める、「開かれた」病院作りに努めています。

## 治療と仕事の両立支援

患者さんが治療を受けながら仕事を続けられる環境を支援しています。

## 地域医療連携

地域社会と密に連携し、より効率の良い、患者中心の医療の提供を目指します。

## チーム医療

早期発見・早期治療を実現する医療体制を強化しています。

## 先進的医療

現代社会で問題とされる疾病にいち早く対応します。

中部ろうさい病院　院長

丸井（まるい） 伸行（のぶゆき）

当院は昭和30年に労働災害・職業病治療を目的として「労働災害」の名前を冠して中部労災病院として創設されました。以来地域に必要とされる医療を提供すべく労働災害ばかりでなく急性期医療を担う総合病院を目指してまいりました。その過程の中で地域の皆様に親しまれた「ろうさい」という名称を大切にして「中部ろうさい病院」と呼称変更しております。名古屋市南部の急性期基幹病院として急性期医療、救急医療に尽力し、加えて特色ある専門診療科を揃え、地域のみならずニーズに応える専門診療を目指しております。今後は来たるべく東南海地震に地域災害医療センターとして対応を進めてまいります。

現在は超高齢化社会の真っ只中にあり、複数疾患を有する高齢の方への専門診療、急性期診療が日常診療の中心となってきております。当院で診療を受けられた方が安心して生活を送っていただけるように地域医療連携を進め、地域のかかりつけの先生、近隣病院ならびに療養型施設と益々緊密に連携してまいります。

当院の設立契機となりました労働災害や職業病の減少に伴い、勤労者医療にも変化が求められています。現在は疾病予防ならびに病気を抱えられた方の職場復帰や治療と仕事の両立支援を通じて安心して仕事を続けていただけるようサポートに取り組んでおります。

病院理念にありますように、皆様に当院で受けていただく医療に「納得」いただき、「安心」を我々医療者とも共有させていただき、今後の「未来」を目指してまいります。

## 病院の理念

# 納得、安心、そして未来へ

## 病院の基本方針

◆医療の質の向上と安全管理の徹底

◆生命の尊厳の尊重と患者さん中心の医療

◆人間性豊かな医療人の育成と倫理的医療の遂行

◆地域社会との密な連携と信頼される病院の構築

◆災害・救急医療への積極的な貢献と勤労者に相応しい高度医療の提供

# 中部ろうさい病院の特徴

## 急性期から回復期まで、シームレスに医療を提供する診療機能
### ～多様な疾患に対応できる充実した施設・設備～

疾患の状態に応じた医療を安全かつ適切に提供しています。

| | |
|---|---|
| 高度急性期機能　1病棟 | ＩＣＵ（集中治療室）　6床　　ＣＣＵ（冠疾患集中治療室）　4床 |
| 急性期機能　8病棟 | 疾患別センター（呼吸器病、消化器病、脳卒中、循環器病、糖尿病） |

## 当院は「愛知県がん診療拠点病院」に指定されています

手術療法、薬物療法、放射線療法など標準的な医療の中から、個々の患者さんの病状やご要望に応じた最適ながん治療を、医師と専門性の高いスタッフが連携して提供しています。

## 地域の患者さんや連携医療機関のみなさまの窓口となる「メディカルサポートセンター」を設置

メディカルサポートセンターは「地域医療連携業務」、「入退院支援業務」、「医療福祉相談業務」を集約することで患者さんや紹介をいただく地域の医療機関の先生方にとって、より便利で分かりやすい機能的なブースとなりました。

■**地域医療連携業務**　紹介、逆紹介患者さんを通じた医療連携における窓口として「地域医療連携室」を設置しています。インターネットより、各種検査（内視鏡、超音波等）、撮影（CT・MRI）、外来優先予約の受付も行っています。

■**入退院支援業務**　入院前に手術や大きな検査に関わる説明を、麻酔科医師をはじめとする多職種で行い、円滑な入院生活を送れるようサポートいたします。また、退院後に安心して療養生活が送れるよう、地域と連携して相談対応いたします。

■**医療福祉相談業務**　医療ソーシャルワーカーをはじめ、多職種が、退院後の生活や、診療費に関すること、ご病気に関する相談をお伺いしています。また、医療安全に関することや、当院へのご意見等も承っています。

## 「治療と仕事の両立支援」「予防医療活動」を推進しています

| 治療と仕事の両立支援 | 予防医療活動 |
|---|---|
| ・糖尿病両立支援の中核施設（糖尿病手帳の作成・運用）<br>・がん、糖尿病、脳卒中（リハ）等の全ての疾患の患者さんの治療と仕事の両立を両立支援コーディネーター（ＭＳＷ、心理士、医師、看護師、ＰＴ等）が支援<br>・両立支援事例収集/両立支援コーディネーター育成支援 | ・生活習慣病等の発症の予防・改善のための研修会や測定会を開催<br>・調査研究により予防法・指導法を開発<br>「中高年齢労働者のサルコペニアの実態と予防」等 |

## 地域医療を支える人材の育成

■**臨床研修施設**　「総合力を重視した専門医養成」を目標に、定期的な症例検討会を行うなど、充実した指導体制を確立しています。

■**専門医制度基幹施設**　内科、麻酔科において専門医研修プログラムを実施する基幹施設として、専門医を育成する体制の整備・充実に努めています。

■**専門・認定看護師**　次の多くの分野で認定看護師を育成しています。急性・重症患者看護、救急看護、皮膚・排泄ケア、集中ケア、がん化学療法看護、がん性疼痛看護、感染管理、糖尿病看護、透析看護、手術看護、摂食・嚥下障害看護、認知症看護、脳卒中リハビリテーション看護、慢性呼吸器疾患看護、慢性心不全看護
各分野におけるチーム医療及び看護外来において中心的な役割を発揮し、患者さんをサポートしています。

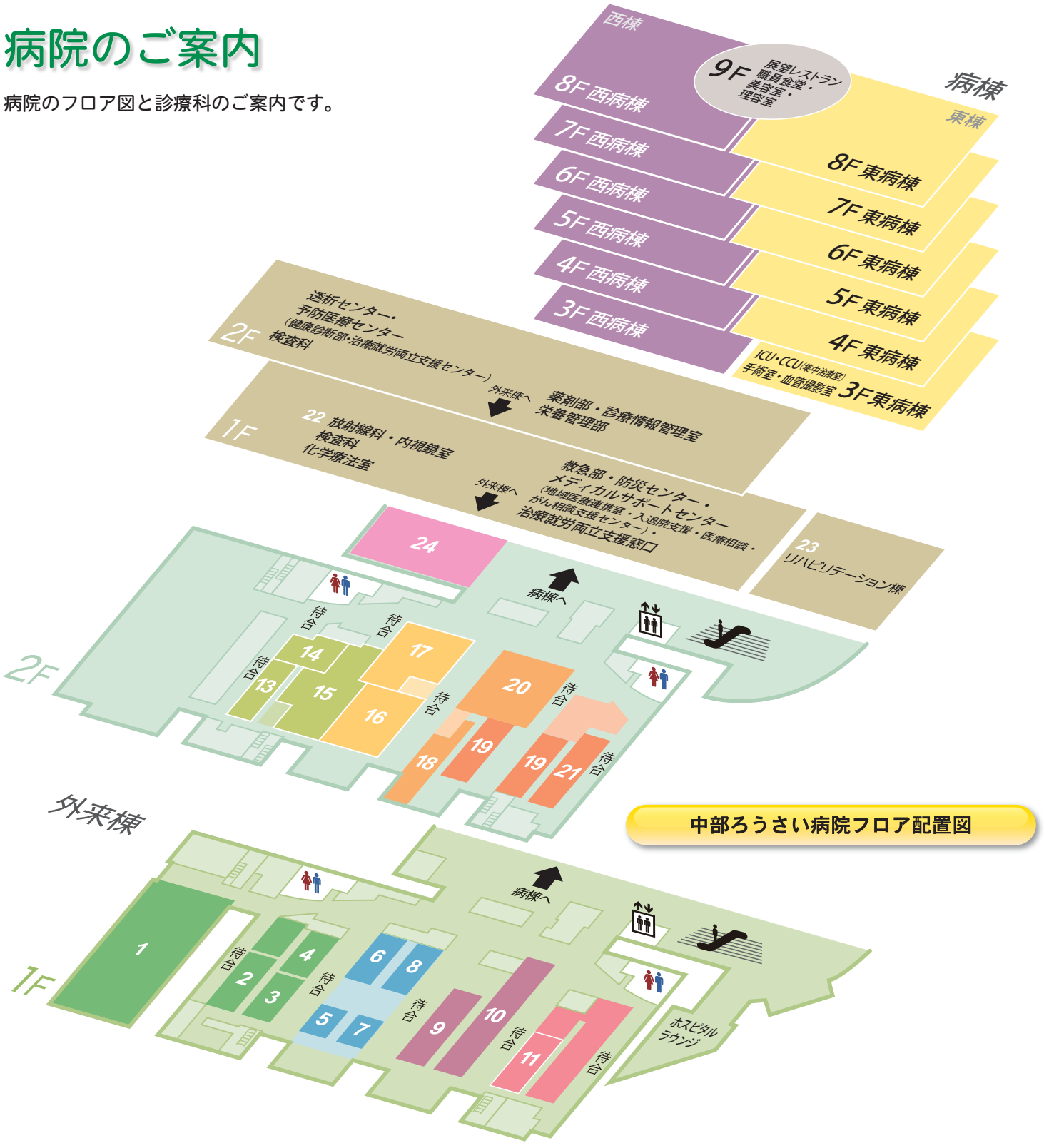
## 安心感を提供する療養環境　～病院らしくない病院　心の癒される病院　受診しやすい病院～

院内の内装に気を配り、自然光、風、緑を感じる柔らかな雰囲気で、患者さんがくつろいで受診できるような環境にしています。また、待合時間などにご利用いただけるホスピタルラウンジを設置しています。

エントランス部分には吉川正道氏の陶板による壁画、窓ガラスには上野泰郎氏のレインボーが鮮やかなステンドグラス、病棟には銅板画家の山本容子氏の絵を飾り、アートをふんだんに取り入れた患者さんの心を癒す空間にしております。

# 病院のご案内

病院のフロア図と診療科のご案内です。




中部ろうさい病院フロア配置図

## おすすめポイント

### 予防医療センター 2F

みなさんの健康づくりを支援することを目的に「健康診断部」と「治療就労両立支援センター」が連携して業務を行っています。

### 特室 8F西

プライバシーに配慮された静寂な環境で療養していただけます。また、特別室には銅板画家山本容子氏による天井画が描かれるなど、病院全体が“山本容子氏の「心の薬」になるアート”に出会える空間になっています。

### 展望レストラン 9F

ラ・ポムとは、フランス語で「りんご」の意味です。当レストランでは、名古屋の景色を見ながらお食事が楽しめます。
営業時間　平日9：00～16：00
定 休 日　土日祝、年末年始

### メディカルサポートセンター(地域医療連携室・入退院支援・医療福祉相談・がん相談支援センター・両立支援相談窓口) 1F

メディカルサポートセンターは、入院前のご説明や入院のご予約、医療費・社会保障制度・転院・在宅療養といったさまざまな医療に関するご相談に対応しています。センター内には、相談室を9室ご用意して、手術や大きな検査の説明や今後の入院生活をプライバシーに配慮した環境で、ご相談いただけます。患者さんに必要な医療・看護・介護・福祉の情報をつなぎ、入院前から在宅まで、切れ目なく支援できるよう、多職種でサポートいたします。また、医療安全に関することや、当院へのご意見等も承っています。

### 屋上庭園 4F

外来棟の屋上には庭園を設けています。是非、皆さんのリフレッシュにご利用下さい。
徒歩10周で、約150kcalを消費できます。

## 内科系診療部門

### 内科総合外来 1

病院の「どの科」にかかってよいかわからない時は、まず内科総合外来を受診下さい。「体調がよくないが、どの科にかかってよいかわからない」「健康診断の精査を希望したい」などいろいろな受診される理由があると思います。場合により入院の上、精査ならびに治療が必要な場合もあります。必要に応じて各科専門外来へ紹介致します。地域の先生とも連携して診療が継続できるよう紹介致します。

### 呼吸器内科 2

感染、腫瘍、アレルギー、びまん性肺疾患など幅広い呼吸器疾患に対応しています。超音波内視鏡による気管支鏡検査や局所麻酔下胸腔鏡などの検査も行っています。肺癌に関しては呼吸器外科、放射線科と連携して手術、放射線、化学療法に対応できる体制をとっています。

### 消化器内科 4

昨今の治療の進歩に、肝胆膵、消化管を問わず対応するように努めており、治療内視鏡、エコー下処置の件数も増えてきています。一方で内視鏡予約やレントゲン読影で地域医療連携を推進し、地域医療への貢献に努めています。

### 循環器内科 6

虚血性心疾患や下肢虚血に対するカテーテル治療を中心に不整脈に対するカテーテル治療や心不全への心臓リハビリテーションを含む循環器疾患全般の治療を行っています。スタッフ24時間待機にて緊急治療に対応します。

### 腎臓内科 21

早期診断と治療を目標にし、腎炎では腎生検による診断を行っています。専門研修を受けた看護師・薬剤師・栄養士のチーム医療により日常生活・食事療法・副作用の少ない薬剤の組合わせで治療を行っています。

### 脳神経内科 8

脳卒中、認知症、パーキンソン病などの神経難病、糖尿病性神経障害、CIDP、頭痛症、てんかん等の疾患を、内科、脳神経外科、リハ科の協力のもと適確な診断と治療を行っています。労災疾病にも対応しています。

### 糖尿病・内分泌内科（糖尿病センター） 19

糖尿病センターでは約3,000名の糖尿病患者を糖尿病専門医と糖尿病療養指導士（看護師、栄養士、薬剤師、検査技師）によるチーム医療にて指導・治療を行っています。

### リウマチ膠原病科 21

原因不明熱、関節痛などを呈する疾患、リウマチ因子や抗核抗体が陽性の疾患、関節リウマチ、全身性エリテマトーデスなどあらゆる膠原病の診療を生物学的製剤などの治療を含め全科と連携し、治療を行っています。

### 精神科 13

新規抗うつ薬である、SSRI・SNRIを中心とした新しい精神科薬物療法を積極的に行っています。身体疾患治療における精神科療法（リエゾン精神医療）も行っています。

### 放射線科 22

放射線科医はCT、MRI、アイソトープ検査、その他各種X線検査、画像診断の専門医です。他の臨床各科の医師と協力しての画像診断のレベルアップを図っています。放射線治療も治療専門医が対応しています。

## 外科系診療部門

### 外科・消化器外科 9

消化器（食道・胃・十二指腸・小腸・大腸・肛門、肝臓、膵臓、胆嚢など）疾患、乳がん、鼠径ヘルニアなどの外科的治療、抗がん剤治療を行います。できる限り患者の負担が少ない治療法（腹腔鏡手術、ロボット手術、乳房温存手術、痔核の硬化療法など）を積極的に行っています。また、腹部救急疾患にも対応しています。

### 呼吸器外科 3

原発性肺癌をはじめ転移性肺腫瘍、縦隔腫瘍、気胸などの外科的治療を行っています。肺癌においては、呼吸器内科と連携し診断から治療、術後follow up、再発に対する治療まで一貫して行っています。ロボット支援下手術（ダビンチ手術）にも積極的に取り組んでおり、患者さんにとって安全で負担の少ない治療を目指しています。

### 整形外科 10

開院時から標榜している東海地方の「老舗の整形外科」の一つとして60年以上の歴史を刻んできました。当科は「脊椎・脊髄外科」「関節外科」「一般外傷外科」に重点をおき、最新の手術設備（術中CT撮影などコンピューター手術支援システム、脊髄モニタリング、施設内ボーンバンクなど）を有し、数多くの手術を行っています。

### 心臓血管外科 5

常に患者さんおよび家族の方々の立場に立ち、十分に納得していただいた上で、適切な治療法がとれるよう心がけており、手術によって心臓・血管疾患を持つ患者さんの生活レベルおよび質が向上することを目標としています。

### 脳神経外科 7

脳卒中・頭部外傷・脳腫瘍など頭部疾患の外来対応および外科治療を行います。緊急性が高い疾患の場合は迅速に対応いたします。内科的治療は可能な限りかかりつけ病院で継続いただき、当院では画像評価を中心に行わせていただきます。

### リハビリテーション科 23

様々な障害に対して適確な診断と予後予測を行い、効率よく障害の克服を図ります。頭部外傷、脳血管疾患、脊髄脊椎疾患や外傷、外科手術、内科の安静治療時の日常生活能力の低下に対して目標を定め、リハビリ医療を行います。各療法士が医師、看護師とともにチームを組み、患者さんの家庭復帰・職場復帰のための環境整備の助言をいたします。

### 泌尿器科 16

頻尿・排尿困難などの排尿異常に対する薬物治療や外科的治療、前立腺癌、腎癌、膀胱癌などの泌尿器悪性腫瘍の外科治療・放射線治療、体外衝撃波破砕器や内視鏡による尿路結石の治療、男性性機能障害（勃起障害、射精障害）や男性更年期（加齢男性性腺機能低下症候群）の診断・治療、男性不妊症の診断などを行っています。また、ロボット支援下手術（ダビンチ手術）にも積極的に取り組んでいます。

### 産婦人科 24

子宮筋腫、卵巣のう腫等の良性腫瘍、子宮がん、卵巣がん等の悪性腫瘍に対して患者さんごとに応じた治療を行っています。不妊症に対して人工授精を含めた一般不妊治療を行っています。子宮内膜症、月経異常、更年期障害、子宮脱等に対して患者さんごとに応じた治療を行っています。

### 眼科 20

白内障、緑内障はもとより糖尿病網膜症、黄斑円孔、黄斑上膜、硝子体出血などの網膜硝子体疾患に対して、より安全で適切と考えられる治療を行っています。また第2・第4金曜日に小児眼科外来を行っています。

### 耳鼻咽喉科 17

頭頸部腫瘍手術、耳科手術という専門的な手術から内視鏡下鼻副鼻腔手術、扁桃摘出術のような一般的な手術まで耳鼻咽喉科疾患に幅広く対応し、一部の疾患を除き当院で治療が完結できる体制をとっています。

### 形成外科 11

外傷・手術・先天異常・加齢などによる体表の形・色の変化を手術で治すことにより、患者さんの生活レベルおよび質が向上することを目標としています。

### 麻酔科 14

侵襲と生体の調和を図ろうとする麻酔の本質は重症患者管理や疼痛管理にも直結しています。当科は3部門（麻酔管理・ICU管理・疼痛外来）を担当し、「安全な麻酔」をモットーに周術期管理に精通した麻酔科を目指しています。

### 歯科口腔外科 15

地域の歯科医療機関と連携して、入院、手術、専門的な治療が必要な口腔外科疾患（埋状歯、インプラント、嚢胞、腫瘍、炎症、顎骨骨折、顎関節症、顎変形症など）の治療を行っております。

### 皮膚科 18

現在は非常勤医師による完全予約制で行っております。紹介患者のみを対象としておりますので、詳しくは当院までお問い合わせください。

### 手術室

全9室で運用し、脊椎・脊髄外科手術、人工関節手術、鏡視下手術、ロボット手術、耳鼻科・脳外科ナビゲーション手術等の様々な手術に対応しています。

# 専門医療センター等のご案内

地域の中核病院として、高度救急医療、愛知県がん診療拠点病院、災害拠点病院に対応する施設を整備しています。
質の高い医療を提供するために、診療科が協働して対応するセンター機能を複数配備しています。

## 専門医療

### 糖尿病センター

当センターでは約3,000名の糖尿病患者を糖尿病専門医と糖尿病療養指導士（看護師、管理栄養士、薬剤師、臨床検査技師）約20名により、糖尿病専門病棟と糖尿病センター外来とでチーム医療を推進し、患者さんの指導・治療を行っています。指導・治療内容は画一的でなく患者さんの身体状況・就業状況・家庭環境等に配慮したオーダーメイドの指導・治療を行い、合併症についても眼科・腎臓内科・脳神経内科・循環器内科等と密に連携しています。

### 脳卒中センター

脳卒中は治らない病気として認識されてきましたが、最近では脳卒中に対する超急性期の治療が進歩し、“治る病気”として見直されています。当院は日本脳卒中学会から一次脳卒中センター（PSC）に認定されており24時間体制で脳卒中の患者さんを受け入れ、脳神経内科、脳神経外科が協力して脳卒中の治療にあたり、ｔ－ＰＡ静注療法などの薬物療法、血管内治療、外科的手術などの治療を行っています。６西病棟を脳卒中センターとして、医師、看護師、薬剤師、リハビリテーション技師などが協力して包括的な医療を提供しています。

### 透析センター

透析治療では血液透析と腹膜透析の選択が可能です。また、腹膜透析と血液透析を組み合わせた治療も行っています。透析患者さんが安心して手術や検査が受けられるようサポートするとともに、リウマチ膠原病科と連携して関節リウマチのある透析患者さんの治療も積極的に行うなど、他の診療部門と連携して透析患者さん特有の合併症治療も行っています。血液浄化では関節リウマチ、自己免疫疾患、炎症性腸疾患、溶血性尿毒症症候群などに対して血液中の物質を除去する吸着療法や血漿交換などを行っています。

### 脊椎・脊髄病センター

首から腰にかけての痛み、手足のしびれ、脱力、歩きづらさなどの症状がある患者さんが受診され、全ての背骨の病気（椎間板ヘルニア、狭窄症、すべり症、靭帯骨化症、腫瘍、感染症、外傷）を治療の対象としています。当センターでは患者さんの病態に合わせて、保存的治療（椎間板・神経根ブロック、ヘルニコア椎間板注入療法など）から手術治療（経皮的低侵襲手術～骨切り矯正固定術など）まで様々な治療法を提供しています。

### がん相談支援センター

相談支援センター（メディカルサポートセンター内）では、がんに関する悩みや心配事について、医療ソーシャルワーカーと看護師が一緒に考え、課題解決のお手伝いをいたします。

### 循環器病センター

冠動脈CT、血管内超音波(IVUS)、光干渉断層法（OCT）、シンチなどの画像診断デバイスを用いて、虚血性心疾患や重症下肢虚血に対するカテーテル治療を行っています。また不整脈に対するカテーテル治療、心臓リハビリテーションなど循環器疾患全般の治療も行っています。

### 呼吸器病センター

日本人の死亡原因の上位をしめる肺がんや肺炎をはじめとする様々な呼吸器疾患に対応するために呼吸器内科と呼吸器外科の病棟を集約し、５階西病棟に呼吸器病センターを開設しました。当センターでは、呼吸器専門の内科と外科が連携して呼吸器疾患の診療にあたっており、特に肺がんにおいては、診断から治療、術後再発に対する治療まで一貫した診療を行なっています。また、術前術後のリハビリテーションや慢性呼吸不全に対する呼吸リハビリテーションなどをリハビリテーション科や認定看護師らと協力して行っています。外来においては禁煙外来を開設し、禁煙をサポートすることで病気の予防や病状の悪化防止に役立てるよう努めています。

### アスベスト疾患センター

政府のアスベスト問題への対応を受け、アスベスト関連疾患の診断・治療及び症例の収集に取り組んでいます。

### 消化器病センター

消化器（食道・胃・十二指腸・小腸・大腸・肛門、肝臓、膵臓、胆嚢など）疾患の診断から治療を消化器内科と外科が緊密に連携して協同で診療に当たっています。内視鏡、腹腔鏡を用いた診断、治療を積極的に行い、腹部の緊急疾患にも連携して迅速に対応しています。

### 救急センター

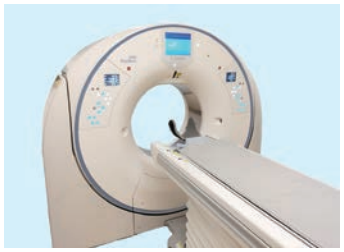
総合病院併設型救急外来として、４床の重症処置ベット、３室の診察室、６床の経過観察ベットを用いて診察を行っています。このうち２室は陰圧管理が可能で感染症に対応しています。後方ベッドとして、ICU/CCU、院内SCUを中心に入院患者を収容しています。各科のバックアップに加えて、脳血管疾患、腹部疾患に関してはCT/MRI画像の専門医による遠隔診断を行っており、迅速な対応を可能としています。平成29年には救外CTを64列CTに更新し、診療環境を充実させています。地域の中核病院として、ウォークインで受診される方はもちろん、名古屋市及び愛知県海部南部における救急車対応システム（メディカルコントロール）に参加し、重症症例まで幅広く救急疾患に対応しています。

# 先進医療機器の導入

正確な診断に基づいた医療を実践し地域の皆様へ貢献できるよう、整備に努めています。

## 320列マルチスライスＣＴ(1台)、64列 (2台)

循環器領域に強い320列マルチスライスＣＴを導入し、低線量で安全に検査が行えるよう３台のＣＴ装置で臨床検査を行っています。救急室にも救急専用の64列ＣＴ装置を導入しており、救急疾患（外傷、大血管疾患、クモ膜下出血等）への迅速な検査が可能です。心筋梗塞の原因となる冠動脈閉塞（狭窄）疾患の検査はもちろん、超急性期の脳梗塞の迅速な治療評価も行えます。



## ＲＩ

微量の放射性同位元素（ＲＩ）と、臓器や組織に特異的に集まる薬を調合した薬（放射性医薬品）を使用し病気の有無を調べる検査です。目的とする臓器や組織に集まった薬は放射線を体外に放出します、それをシンチカメラと呼ばれる専用のカメラを用いて収集し画像にします。さらに、同一寝台上で連続して撮影・検査できるＳＰＥＣＴ/ＣＴ装置で得た画像を融合し、今までのＲＩ画像とは異なる解剖学的位置、形態情報を得ることができます。

## ＤＳＡアンギオ装置(2台)(心筋梗塞・脳梗塞・脳動脈瘤)

低被曝機構を備えた血管撮影システムで心臓の検査から頭部の血管、また広い視野を生かして足の血管まで幅広い検査に対応しています。近年は不整脈治療のアブレーション検査に多く取り組んでいます。

## リニアック

高精度放射線治療に対応した60対ＭＬＣ、ポータルイメージング、ＯＢＩを搭載したリニアック装置と３次元治療計画装置を稼働しております。より精度が高く、患者さんに負担のかからない放射線治療を目指します。

## 手術支援ロボット(ダビンチ)

従来の腹腔鏡・胸腔鏡手術にロボット機能を組み合わせて行う手術です。術者は「サージョンコンソール」にて患者さんの側にある「ペイシェントカート」を操作し、手術を行います。従来の手術に比べ、①３Ｄモニターにて鮮明に体内を映し出すことができる、②手振れ防止機能がある、③多関節鉗子により直感的な操作が可能である、などのメリットがあり、より繊細で精密な手術が可能になります。傷口が小さく、出血が少ない低侵襲の手術が可能となるため、患者さんの体力的な負担が少なく、術後の回復も早くなります。

## ３テスラ/1.5テスラＭＲＩ(各１台)

脳、脊髄、関節、子宮や前立腺などの病気に対する画像診断に有効な検査です。新規導入した３テスラのＭＲＩ装置では最新のＡＩによるDeep Resolve（ディープラーニングを用いた再構成技術）によって撮影時間の延長なくさらに高解像度の画像を提供できます。（注）体内デバイスの種類によっては３テスラの装置で撮像できない場合があります。

## マンモグラフィ

通常撮影、トモシンセシス（３Ｄ撮影）、バイオプシとあらゆる検査が最適なワークフローで提供可能です。当院導入装置は、高精細な診断画像で“見やすく”、 従来の約40%減のＸ線量で“やさしい”検査を提供します。直接変換方式ＦＰＤ画素サイズ50μmを採用しており、微小石灰化の描出能が向上しました。当院では検診マンモグラフィ撮影認定資格を持った女性診療放射線技師が撮影を担当しています。またマンモグラフィ検診施設認定を取得しており、高度な画像を提供します。

# 勤労者医療

## 治療と仕事の両立支援相談窓口

仕事をつづけながら安心して治療を受けることができるように、両立支援コーディネーター（医療ソーシャルワーカー・公認心理師等）がサポートしています。場所：１階メディカルサポートセンター内

## 健康診断部

専門のスタッフや機器によって、病気の早期発見を目指すとともに、その予防にも力を入れています。場所：２階予防医療センター内

### ■人間ドックコースのご案内

**●日帰りドック［スタンダードコース…１日］**

基本項目では胃の検査（内視鏡か胃透視）と腫瘍マーカー・便潜血（大腸がん）検査を実施しています。受診者ひとりひとりのニーズにお応えするため、各種オプション検査を追加で受けることができます。

**●宿泊ドック［１泊２日～２泊３日コース］**

がんや疾病等の早期発見に有効な「CT検査」をはじめ、脳ドック・子宮がん／乳がんなどの各種オプション検査を追加することができます。

**●脳ドック**

MRI検査により脳梗塞・脳動脈瘤等を、頸動脈超音波／血圧脈波検査で動脈硬化や血管の状態を調べます。あわせて心電図や血液検査なども実施し、専門医が総合的に診断します。

マンモグラフィ検診画像認定施設
日本脳ドック学会認定施設

### ■各種健康診断

一般健康診断、労災二次健康診断、海外派遣健康診断、特殊健康診断、健康管理手帳による健康診断など

❖ 健診・人間ドックについてのお問い合わせは

TEL：052-652-5511(代表) FAX：052-651-5567(直通)

## 中部ろうさい病院概要

| | |
|---|---|
| 開設者 | 独立行政法人　労働者健康安全機構<br>理事長　大西　洋英 |
| 管理者 | 中部ろうさい病院<br>院長　丸井　伸行 |
| 開　院 | 昭和30年３月22日 |
| 病床数 | 524床 |
| 住　所 | 〒455-8530<br>愛知県名古屋市港区港明1丁目10番6号 |
| 電　話 | 052-652-5511（代表） |
| URL | https://www.chubuh.johas.go.jp |
| 診療科目 | 総合内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、腎臓内科、<br>脳神経内科、心療内科、糖尿病・内分泌内科、リウマチ膠原病科、<br>精神科、小児科、外科、消化器外科、呼吸器外科、整形外科、心臓血管外科、<br>脳神経外科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、<br>耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、<br>歯科口腔外科、病理診断科 |

ご案内図

**●金山駅より地下鉄で来院される場合**

徒歩　バス停　地下鉄出入口

金山駅で名港線「名古屋港行き」にお乗り換えいただき、「港区役所」で下車してください。
①番出口より徒歩約7分です。金山駅から病院までの所要時間は約15分。

**●市バスで来院される場合**

金山駅バスターミナル（市バス停留所）8番のりばより系統25（野跡駅または港区役所行き）にご乗車いただき「労災病院前」で下車してください。

**●車で来院される場合**

名古屋高速東海線（北行）でお越しの場合、「木場ＩＣ」より所用時間約５分
名古屋高速東海線（南行）でお越しの場合、「港明ＩＣ」より所用時間約３分


中部ろうさい病院
Chubu Rosai Hospital
〒455-8530 愛知県名古屋市港区港明1丁目10番6号　ホームページ https://www.chubuh.johas.go.jp
TEL:052-652-5511（代表）